

卒業論文の要旨

論文題目	「自己犠牲」と「自己実現」のリーダーシップ-女性リーダー4人のインタビュー調査から見る女性管理職問題-
氏名	仲澤葉瑠香
メジャー	コミュニケーション学
<p>(要旨)</p> <p>本研究では、近年問題になっている女性管理職問題に着目し、日本女性が抱える管理職に対する壁を取り除くべく、現在女性リーダーとして活躍していると思われる女性からその仕事への熱意ややりがいの原動力を社会心理学的観点から解明した。調査方法は20代から40代の4人の女性に1時間から1時間半のインタビュー調査であった。本研究の結果として、対象者全てが女性ならではのハンデや悩みを感じている一方、一般的に考えられる「自己犠牲」を「自己犠牲」だ感じていないことが分かった。女性リーダーにとっての「自己犠牲」は必ずしも負の感情に繋がってはおらず、「自己実現」を築き上げるための一つ的手段に過ぎないと思われた。一見矛盾しているように見えるこの結果は、本研究の中で女性リーダーならではの仕事へのやりがい、数多くの奮闘を知れば大きく納得ができるものになるだろう。一人でも多くの日本女性が社会で上を目指すきっかけとなるよう、本研究を通して伝えていきたい。</p> <p>キーワード: 女性管理職、自己犠牲、自己実現、リーダーシップ</p>	
<p>(指導教員の推薦のコメント)</p> <p>本論文は、まだ研究の少ない女性管理職者のキャリア意識についてインタビュー調査を行い、構成主義版グラウンデッドセオリー法を使って、深く分析したものである。当人たちにとっての意味の世界は調査者の深い洞察力と観察眼をもって初めて明らかにできたことである。本論文の貢献は多々あるが、女性管理職者たちが「自己犠牲」と「自己実現」を対立するものとしてではなく、むしろ進んで「自己犠牲」することによって職場の管理職者としての「自己実現」を図っている姿を明らかにしたことは、マズローの自己実現欲求の利他的側面を具体的に示している点で秀逸である。今後、女性管理職者の進出が望まれる日本の職場にあって、新しいリーダーシップ行動やコミュニケーションスタイルを模索するうえで、新たな視点を提供するものとして高く評価できる。</p>	